

# エコアクション21 環境活動レポート



2010年度 (レポートの対象期間：2011年2月～4月)

発行日 2011年 6月 1日

 **株式会社 伊藤製作所**

## ・ 会社の概要

### 1. 会社名及び代表者氏名

会社名 株式会社 伊藤製作所  
代表者 代表取締役 伊藤大史

### 2. 所在地

〒419-0313  
静岡県富士宮市西山2442-2

### 3. 創業

昭和43年4月

### 4. 資本金

1,000万円

### 5. 環境管理責任者名及び連絡先

管理責任者 品質保証 勝亦正志  
連絡先 TEL 0544-65-3777  
FAX 0544-65-3778  
E-MAIL [m.katsumata@itou.co.jp](mailto:m.katsumata@itou.co.jp)



### 6. 事業内容

家電部品・自動車部品のプレス金型設計・製作  
家電部品の精密板金加工 / 家電部品・自動車部品のプレス加工  
板金部品のスポット溶接・サブ組立  
治工具・検具の設計・製作



### 7. 事業の規模 (事業年度 5月～4月)

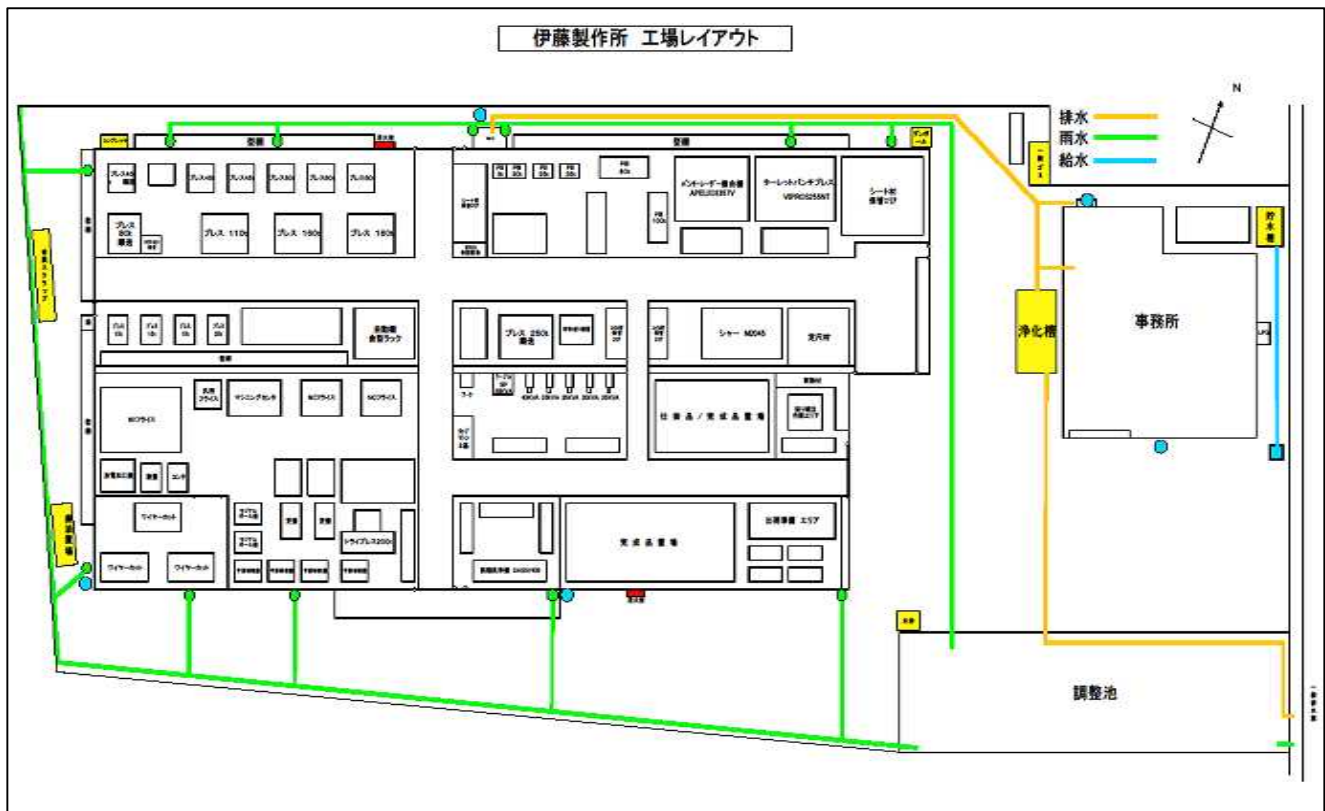
従業員 48名 (2011年5月現在)  
建物面積 2,596㎡  
敷地面積 5,953㎡  
売上高 638百万円 (2009年度)

## 8. 敷地概要

都市計画法での用途地域指定：一部を除く市街化調整区域

静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定

- ・ 騒音：第2種区域
- ・ 振動：第1種区域の2



## 9. 対象範囲（認証・登録）

### 組織の対象範囲

株式会社 伊藤製作所 本社及び工場

### 事業活動の対象範囲

家電部品・自動車部品のプレス金型設計・製作  
家電部品の精密板金加工 / 家電部品・自動車部品のプレス加工  
板金部品のスポット溶接・サブ組立  
冶工具・検具の設計・製作

## ．環境方針

### [ 基本理念 ]

株式会社伊藤製作所は、金属製品の製造・販売をしている会社として、「環境負荷の低減に配慮した生産活動」をし、「環境と調和した金属製品の提供」に努めます。

そして“かけがえのない地球環境”を守る為、全従業員で環境保全活動を推進します。

### [ 行動指針 ]

電力・資源消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。

原材料や事務用品のグリーン購入に努めます。

水資源（使用量）の節水に努めます。

環境に関する教育を全従業員に行い、環境保全の意識を高めます。

環境関連法規制や当社が定めた事を遵守します。

環境保全活動の推進において地域社会との協調連帯を図ります。

産業廃棄物の排出量削減とリサイクル推進に努めます。

環境目標・活動計画を定め、行動し定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

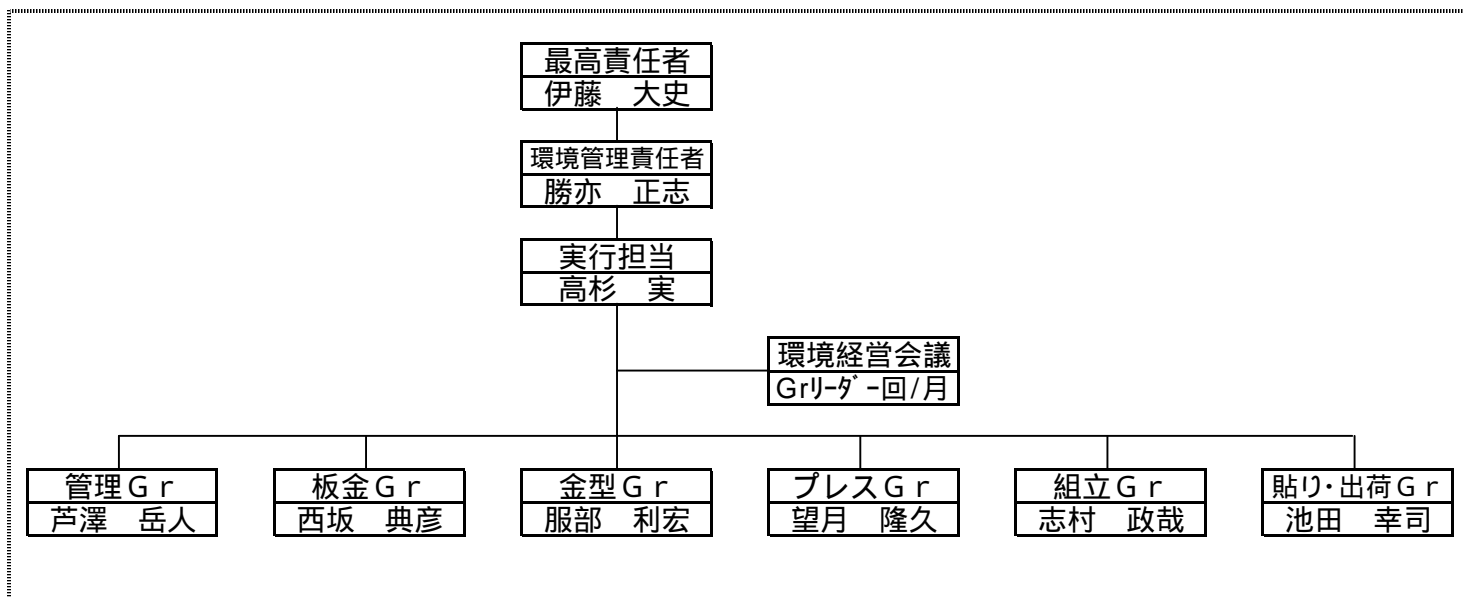
制定日： 2010年12月20日

改定日：

株式会社 伊藤製作所  
代表取締役

伊藤大史 

## ・実施体制



### (役割・責任及び権限)

#### 社 長

- ・ 環境経営システムの構築、マニュアルの制定及び承認
- ・ 環境方針・目標の策定及び見直し
- ・ 環境活動計画の承認
- ・ 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な資源の提供
- ・ 緊急事態発生時の統括

#### 環境管理責任者

- ・ 環境経営システムの維持管理
- ・ 環境法規等の把握及び見直し
- ・ 環境活動計画の推進と実行及び計画の策定
- ・ 環境教育の実施と統括
- ・ 環境経営システムの見直しと達成項目の報告

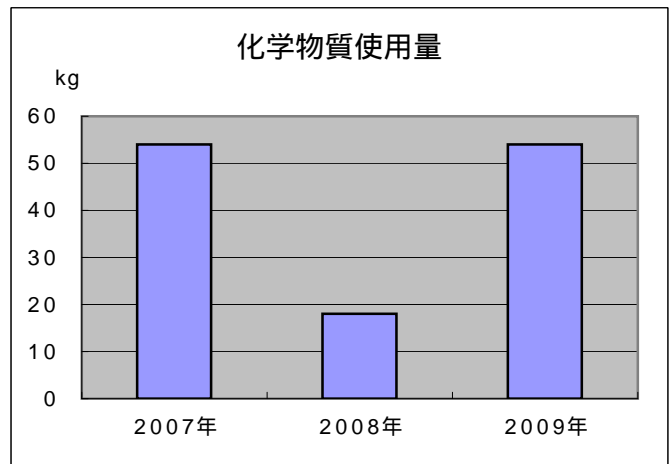
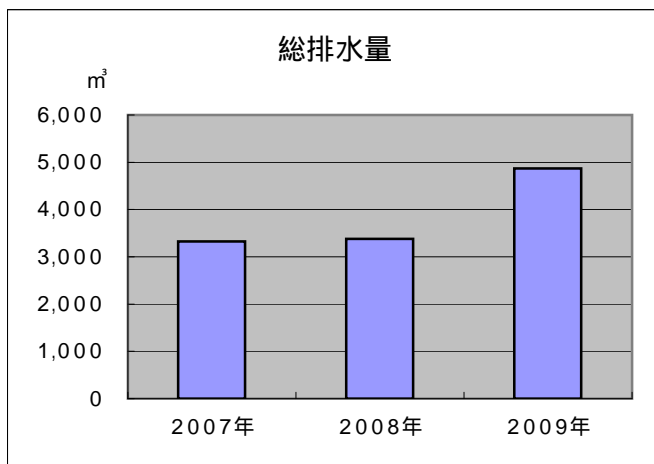
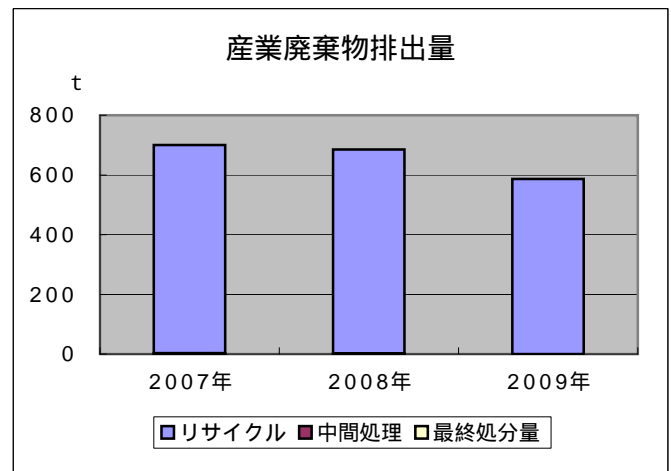
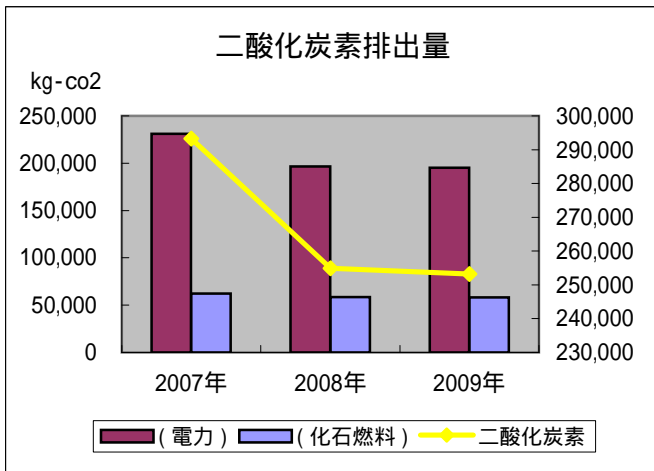
#### 実行担当及びGrリーダー

- ・ 環境連絡の周知及び連絡
- ・ 環境法規等の把握及び遵守
- ・ 環境改善及びGr間とGr内の調整
- ・ 環境経営システムの維持推進の協力及び報告
- ・ 環境経営システムの運用及び記録
- ・ 緊急事態の発生時、その処理と是正及び報告

## 環境負荷の状況

環境への負荷		単位	2007年	2008年	2009年	
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	Kg-CO <sub>2</sub>	293,296	254,897	253,188	
	(電力)	Kg-CO <sub>2</sub>	230,987	196,418	195,039	
	(化石燃料)	kg-CO <sub>2</sub>	62,309	58,479	58,150	
廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物 <sup>1</sup>	リサイクル	t			
		中間処理	t			
		最終処分量	t			
	産業廃棄物	リサイクル(有価物)	t	704	688	586
		中間処理	t	0	0	0
		最終処分量	t	0	0	0
総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	3,323	3,377	4,870	
水使用量	地下水	m <sup>3</sup>	3,323	3,377	4,870	
化学物質使用量	トルエン	Kg	54	18	54	

1. 一般廃棄物は2007～2009年度の実績値が無く、2010年10月から実績把握を開始した。



・環境目標とその実績 (取組期間2011年2月～4月)

環境目標項目	推進部門	単位	基準値		目標 実績	環境目標値と実績値			
			取組期間	2009年度		取組期間	2011年度	2012年度	2013年度
			2009年度2-4月	5月～4月		2010年度2-4月	5月～4月	5月～4月	5月～4月
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)	全体	%			目標	-1%	-1%	-4%	-7%
		kg-co2/百万円 <sup>2</sup>			実績	1,224	4,582	4,443	4,304
		%	100	100		-10%			
		kg-co2/百万円 <sup>2</sup>	1,237	4,628		1,109			
		kg-co2 <sup>1</sup>	65,663	245,740		70,520			
		Kwh	116,650	466,600		130,231			
		絶対量 (総量)				1,032			
電力使用量		1,406	5,624		2,836				
ガソリン使用量		2,782	11,128		2,506				
軽油使用量		2,544	3,390						
灯油使用量									
廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)									
一般廃棄物排出量削減 (リサイクル) ダンボール、新聞紙、古紙	事務所/ 工場	%			目標	-1%	-1%	-4%	-7%
		kg/百万円 <sup>3</sup>			実績	19.4	77.6	75.2	72.9
		%	100	100		-26%			
		kg/百万円 <sup>3</sup>	19.6	78.3		14.5			
kg	1,040	4,160 <sup>4</sup>		920					
一般廃棄物排出量削減 (最終処分) 可燃ごみ	事務所/ 工場	%			目標	-1%	-1%	-4%	-7%
		kg/百万円 <sup>3</sup>			実績	50.3	201.4	195.3	189.2
		%	100	100		-14%			
		kg/百万円 <sup>3</sup>	50.8	203		43.9			
kg	2,700	10,800 <sup>4</sup>		2,790					
産業廃棄物排出量削減 (リサイクル) 木くず、鉄くず、スクラップ	工場	%			目標	-1%	-1%	-4%	-7%
		kg/百万円 <sup>3</sup>			実績	2,559	10,236.9	9,926.7	9,616.5
		%	100	100		-14%			
		kg/百万円 <sup>3</sup>	2,585	10,340		2,230			
kg	137,267	549,069 <sup>4</sup>		141,837					

1.二酸化炭素排出係数(東京電力H20年)

0.418kg-co2/kwh

2.二酸化炭素排出量は、生産量(売上高)に比例する部分が多くを占める為に、目標値及び実績の評価には総排出量を売上高で割った値(kg-co2/百万円)を指標として使用する。  
但し、総排出量(kg-co2)を把握・評価することも重要であるため、実績は総排出量を併記して追跡できるようにした。

3.廃棄物排出量は生産量(売上高)に比例する部分が多くを占めるために、目標値及び実績の評価に使用する数値は、排出量を売上高(百万円)で割った値(kg/百万円)を採用した。  
但し、総量(kg)を把握することも重要と考えられるため、実績は総量を併記して追跡できるようにした。

4.取組期間の基準値は2009年2月から4月までの実績(一般廃棄物は2010年10月から12月)を把握し、その値を使用した。  
また、2009年度(5月～4月)の基準値は、その値を4倍した値を採用した。

・環境目標とその実績のつづき

環境目標項目	推進部門	単位	基準値		目標 実績	環境目標値と実績値			
			取組期間	2009年度		取組期間	2011年度	2012年度	2013年度
			2009年度2-4月	5月～4月		2010年度2-4月	5月～4月	5月～4月	5月～4月
総排水量削減（節水）									
水使用量削減	工場	%			目標	-1%	-1%	-4%	-7%
		m <sup>3</sup>				1,206	4,821	4,675	4,529
		%	100	100	実績	58%			
		m <sup>3</sup>	1,218	4,870		1,929			
化学物質使用量削減									
トルエンの適切な管理 および代替物質の探索	工場	施策			目標	適切な管理	適切な管理と教育	代替物質への移行	
		実行			実績	保管場所の整備			
グリーン購入への取組									
事務用品のグリーン購入 エコ商品購入比率 エコ商品の数 / 全購入数	事務所	%			目標	基準値の設定	3%	6%	9%
		エコ品数 / 全品数				エコ商品購入比率を把握する	102/204	108/204	114/204
		%			実績	47%			
		エコ品数 / 全品数				24/51			
製品・サービスへの環境配慮									
客先納入不良件数の削減	工場	%			目標	-5%	-1%	-2%	-3%
		%	100 <sup>5</sup>	100 <sup>5</sup>	実績	5%			
その他									
環境教育の実施	全体	%			目標	100%	100%	100%	100%
		回数				3	12	12	12
		%			実績	100%			
		回数				3			
防災訓練の実施	全体	%			目標	100%	100%	100%	100%
		回数				1	1	1	1
		%			実績	100%			
		回数				1			
清掃活動の実施	全体	%			目標	100%	100%	100%	100%
		回数				1	1	1	1
		%			実績	100%			
		回数				1			

5.製品・サービスへの環境配慮「客先納入不良件数の削減」は2009年2月～4月までの客先から品質に関する連絡を受理した件数(内容の重要度に関係なく全てカウントした数)を基準値(%)とした。  
また、2009年度(5月～4月)の基準値は2009年度(5月～4月)までの客先から品質に関する連絡を受理した件数(内容の重要度に関係なく全てカウントした数)を基準値(%)とした。



## VI. 主要項目の環境活動計画内容

活動計画内容		手段	推進者	2月活動	3月活動	4月活動
<b>◆二酸化炭素排出量削減</b>						
電気使用量の削減	昼休み時、事務所・工場内の照明消灯	ルール作成・教育	谷合	全員に内容周知。節電ラベル貼り	節電呼び掛けと効果確認	節電呼び掛けと効果確認
	ロッカー室、食堂、トイレ使用時以外の消灯	ルール作成・教育	谷合	全員に内容周知。節電ラベル貼り	節電呼び掛けと効果確認	節電呼び掛けと効果確認
	空調の適温化(設定温度：夏27℃冬22℃)	ルール作成・教育	谷合	全員に内容周知。節電ラベル貼り	節電呼び掛けと効果確認	節電呼び掛けと効果確認
	空調機器のフィルターの定期清掃	ルール作成・教育	谷合		空調フィルター清掃ルールと実施	
	パソコン、OA機器の省電力化設定にする	ルール作成・教育	芦澤	全員に内容周知。節電ラベル貼り	節電呼び掛けと効果確認	節電呼び掛けと効果確認
	夜間、休日のOA機器の主電源を切る	ルール作成・教育	芦澤	全員に内容周知。節電ラベル貼り	節電呼び掛けと効果確認	節電呼び掛けと効果確認
	夏季軽装、ブライトカーテンで室温・照度調節	ルール作成・教育	勝亦	全員に内容周知。		
	コピー機・昼休み時間の停止	ルール作成・教育	高杉	伝達ルールの作成と全員周知。	伝言板設置・昼休み電源OFF励行	
化石燃料の削減	灯油	ルール作成・教育	勝亦		ポスター掲示	ポスター掲示
	ガソリン、軽油	ルール作成・教育	池田	エコドライブ教育	燃費記録取り、運行日報	燃費記録取り、運行日報
<b>◆廃棄物排出量削減</b>						
一般ゴミの削減	個人が持ち込んだゴミは持ち帰る	ルール作成・教育	高杉	全員に内容周知。	巡回確認	巡回確認
ゴミ分別とリサイクルの推進	可燃ごみと資源物の分別	ルール作成・教育	勝亦	全員に内容周知。	一般廃棄物保管場所の看板設置	
	ビニール・裏紙の積極的使用	ルール作成・教育	芦澤	全員に内容周知。	片面紙、両面紙ボックス設置	
	PPバンド、容器袋の再利用推進	ルール作成・教育	池田	全員に内容周知。	リサイクル容器の準備	
産廃物の削減	廃木材の削減	ルール作成・教育	西坂	全員に内容周知。	産業廃棄物保管場所看板の設置	不要木材の返却ルール
	鉄スクラップの削減	ルール作成・教育	望月	全員に内容周知。	産業廃棄物保管場所看板の設置	材料棚卸
<b>◆総排水量削減</b>						
水使用量の削減（節水）	昼休み、作業終了時の止水の徹底	ルール作成・教育	志村	溶接作業場の止水徹底を周知	止水徹底看板設置	シャワー故障パールの修理
	手洗い、洗い物での節水	ルール作成・教育	志村	全員に内容周知。節水ラベル貼り		漏水点検
	水道蛇口、パール開閉の始業・終業点検	ルール作成・教育	志村	溶接作業場のパール確認ルール決め	実施状況確認	
<b>◆化学物質使用量削減</b>						
トルエンの使用量削減	代替物質への検討	代替物質選定	勝亦	MSDS設置と担当者教育	代替物資の探索	代替物質の選定
<b>◆グリーン購入への取り組み</b>						
エコ製品購入（副資材、事務用品）	購入品の現状把握	購入実績調査	望月智	2010年度の購入品目リスト作成		
	エコ商品の積極的購入と購入率の算出	購入比率計算	望月智		エコ商品の購入と購入比率の算出	エコ商品の購入と購入比率の算出
<b>◆製品・サービスへの環境配慮</b>						
客先納入不良件数の削減	素材加工ロス、選別作業・代替対応の削減	客先不良件数	勝亦	発生件数内容把握。週1回報告	発生件数、内容把握。週1回報告	発生件数、内容把握。週1回報告
<b>◆その他</b>						
環境教育（月1回）	身近な環境教育の実施	定例エコ会議	勝亦	「エコ職場の約束事」の教育	エコドライブ教育、産業排出物教育	環境関連の法令
防災訓練（1回/今期）	防災組織の作成、緊急避難訓練の実施	計画と実施	服部	消防法関連、油関係の管理	防災訓練組織、訓練方法の計画	防災訓練の実施
清掃活動（1回/今期）	工場内外周辺の清掃活動計画と実行	計画と実施	芦澤	清掃方法について決める5W1H	清掃用具、保管場所等整備	清掃の実施

## 活動実施状況



2011/2/7 エコアクション21 キックオフ会



知-ガ-ンで全員参加の呼び掛け



エコアクション21 リーダー勉強会の様子



エコアクション掲示板



2011年4月28日 防災訓練



震災・火災についての話



消火栓の使用説明



消火ホースの使い方指導



放水訓練



撤収訓練



## 活動実施状況のつづき



2011年4月29日 環境清掃活動



工場敷地外のクリーン清掃



コンプレッサー節電管理板



照明、空調節電ラベルで周知徹底



トイレ節水協力を呼びかけ



PPバンドリサイクル推進



コピー機、節電呼び掛け



分別リサイクル



危険物保管場所の整備



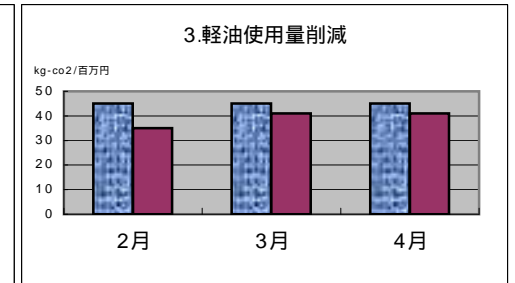
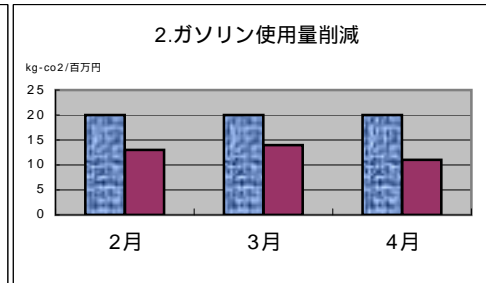
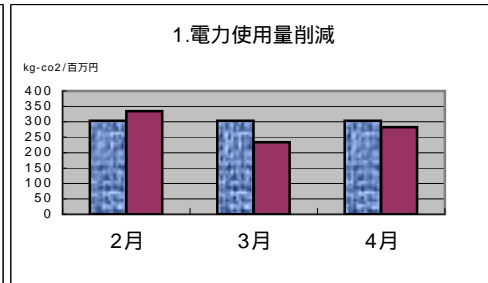
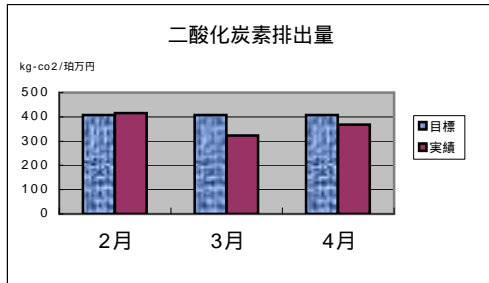
木くず置場の管理



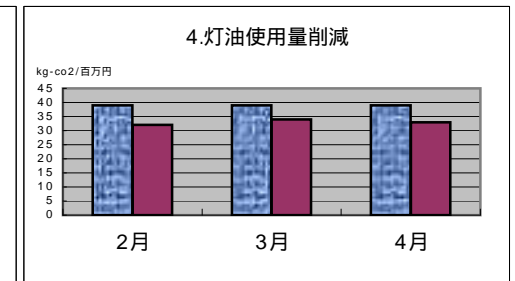
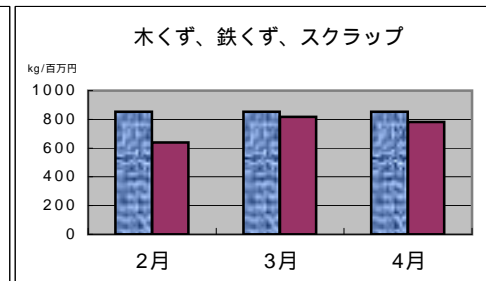
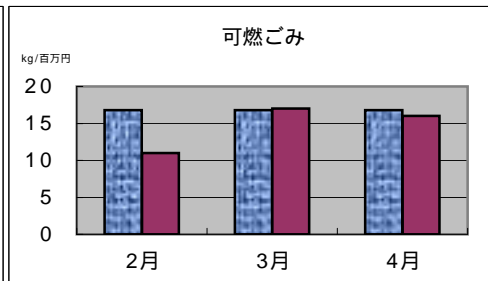
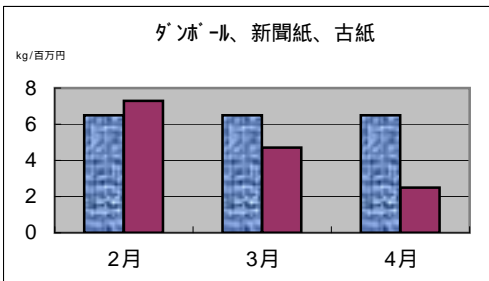
鉄くず置場の管理

## 環境活動の取組結果と評価

取組項目 (単位)	目標と実績		基準年度比	取組結果	評価	達成事項、問題点、次年度取組内容
二酸化炭素排出量削減 (kg-co2/百万円)	目標値	1,224	99%	主なエネルギー4種類について取組を行なった結果、原単位で10%の削減となった。		原単位では目標達成だが、総量は増えているので、二酸化炭素そのものを減らせる取組を考えたい。次年度は更に削減出来る様活動に力を入れたい。
	実績値	1,109	90%			
1. 電気使用量削減 (kg-co2/百万円)	目標値	909	99%	昼休み1時間照明、コンプレッサ、設備の停止で節電を実践した。節電ラベルで全社員周知徹底。		昼休みの節電意識が定着してきた。次年度新たな節電活動を取り組む。次年度、デマンド管理のデータを積極的に活用したい。
	実績値	856	93%			
2. ガソリン使用量削減 (kg-co2/百万円)	目標値	61	99%	「エコドライブ10」のすすめ啓蒙資料でエコドライブを呼びかけた。		エコドライブ10を全社員に朝礼で教育した。輸送トラック、バンの具体的な取組を次年度計画していく。
	実績値	38	61%			
3. 軽油使用量削減 (kg-co2/百万円)	目標値	136	99%	運行日報記入と全車燃費計算を開始し、運転手にデータをフィードバックした。		輸送員にエコドライブ取組教育を実施した。次年度は具体的取組に対して燃費で効果を把握する為基礎データを作っていく。
	実績値	117	85%			
4. 灯油使用量削減 (kg-co2/百万円)	目標値	118	99%	灯油使用削減の呼びかけウォームビズのすすめを呼びかけた。		使用数量値は若干減少した。次年度、暖房の効率的な使い方を教育し使用量を減らしていく。
	実績値	98	82%			



廃棄物排出量削減						
ダンボール、新聞紙、古紙 (kg/百万円)	目標値	19.4	99%	PPAノド、ストッパダンボール、袋の再利用 コピー紙両面の積極的使用を周知徹底した。		コピー紙両面使用を積極的に使用する様になり、分別も定着した。 PPAノドの再利用が定着してきている。総量、原単位とも減少した。
	実績値	14.4	74%			
可燃ごみ (kg/百万円)	目標値	50	99%	コピー両面使用後、リサイクルに回した。 個人が持ち込んだゴミ持ち帰り徹底。		コピー紙を一般ゴミからリサイクルに回すことを周知出来た。 原単位は減少したが総量は増加。次年度は総量を減らせる様活動したい。
	実績値	44	86%			
木くず、鉄くず、スクラップ (kg/百万円)	目標値	2,559	99%	産廃物の置場への表示を行なった。 木くずの一部を材料調達先に返却した。		有価物である鉄スクラップ、鉄くずを廃棄物扱いで位置づけ管理している。 今後の位置づけを検討する。原単位は減少。総量増加。次年度総量低減に取組む
	実績値	2,230	87%			



取組項目 (単位)	目標と実績		基準年度比	取組結果	評価	達成事項、問題点、次年度取組内容												
<b>総排水量削減</b>																		
水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	目標値	1,206	99%	事務所、工場の水道蛇口とトイレに節水ラベルを貼り、全社員に周知徹底を図った。スポット溶接機使用時以外の止水徹底。(設備単位で行った。) 工場内の水配管の漏水の疑いから調査実施漏水が発見され、改修工事実施。	×	2月から計画通り活動を推進。3ヶ月間の水使用量は良い結果が得られると思われたが、目標に対して60%増加となってしまい、再調査を実施した。当初の昼休み・終業時の止水が徹底されていなかったことに加え、工場内の漏水の可能性も出てきた為、工場全体の水道を止めメーターを確認した。結果、水元栓の流水計が回り続けていた為、早急に水道業者に調査依頼し、漏れ箇所の特定と修理を行ない漏水対策が完了した。次年度水使用量が減少すると見込んでいるが、水使用量の把握を月1回担当者が検針、一緒に漏水確認も実施していく。次年度は漏れ要因の一つである冬場の水道凍結対策を検討していきたい。												
	実績値	1,928	160%															
<p>水使用量</p> <table border="1"> <caption>水使用量 (m<sup>3</sup>)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>Blue Bar (m<sup>3</sup>)</th> <th>Red Bar (m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2月</td> <td>400</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>400</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>400</td> <td>650</td> </tr> </tbody> </table>							月	Blue Bar (m <sup>3</sup> )	Red Bar (m <sup>3</sup> )	2月	400	650	3月	400	650	4月	400	650
月	Blue Bar (m <sup>3</sup> )	Red Bar (m <sup>3</sup> )																
2月	400	650																
3月	400	650																
4月	400	650																
<b>化学物質使用量削減</b>																		
トルエンの適切な管理と代替物質への探索	目標	適切な管理		都度容器を密閉し庫内で保管する。MSDSを設置し使用者に教育した。危険物保管庫に注意表示をした。		消防法少量危険物に規制されないが、安全に保管取扱いし、事故、怪我を未然に防止できるよう、使用者への教育や保管の見直しをした。 トルエンに代わる代替物質の調査は引き続き調査する。												
	実績	保管庫の整備																
<b>グリーン購入への取り組み</b>																		
エコ製品購入(副資材,事務用品)	目標	エコ商品購入と実績把握		エコ商品(マ-ク)を啓蒙資料で周知。事務用品2~4月購入数51品、エコ商品24品 エコ商品割合47%		2月から事務用エコ商品を意識して購入開始した。過去のエコ商品実績データが無い為試行期間3ヶ月間の実績を把握。試行3ヶ月間の実績をベンチマークとし次年度目標を立て推進していく。												
	実績	3ヶ月実績集計																
<b>製品・サービスへの環境配慮</b>																		
客先納入不良件数の削減	目標値	5%削減	95%	週1回全体朝礼で品質情報の報告と教育実施。	×	客先納入不良件数の削減目標は未達成だった。不良発生内容をよく分析し、次年度の品質目標・品質計画で見直しを図る。												
	実績値	5%増加	105%															
<b>その他</b>																		
環境教育	目標	3回	100%	環境に関する勉強会を実施した。		ミーティング3回開催出来た。教育に重点を置いた。PDCAを理解し行動に繋がられる様リーダー中心に次年度も教育する。												
	実績	3回	100%															
防災訓練	目標	1回	100%	東海地震を想定した避難訓練、火災放水訓練を実施した。		計画に従って実行出来た。マイク放送が届かない場所を見直す。												
	実績	1回	100%															
清掃活動	目標	1回	100%	工場敷地内外のゴミ拾い、草刈、側溝の清掃を実施した。		清掃活動計画に沿って活動出来た。近隣環境保全の観点から敷地外林の草刈、ゴミ拾いを実施。												
	実績	1回	100%															

## ・環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 1. 適用される環境関連法規等とその遵守状況 (2010年度：2011年2月～4月)

法令・条例等	適用事項及び遵守内容	遵守状況
廃棄物処理法	表示板設置(60×60cm以上) 産業廃棄物の運搬、処分の委託契約 産業廃棄物管理票の保管(A、B、D、E票)	1
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選任 年1回実地確認	1
騒音規制法 静岡県生活環境に関する条例	騒音規制法に基づく特定施設の届出 規制基準：第2種区域	
振動規制法 静岡県生活環境に関する条例	振動規制法に基づく特定施設の届出 規制基準：第1種区域の2	
労働安全衛生法	化学物質の管理,MSDS表示 耳栓着用 健康診断(年1回)	
浄化槽法	定期検査(年1回) 保守点検(年4回) 清掃(年1回)	
消防法	危険物の規制量以下での使用と保管 消防法に準じた形で管理	
RoHS指令 REACH規則	顧客からの要求事項の遵守	

### 2. 環境関連法規等の遵守状況の評価結果

環境関連法規等の適用事項及び遵守内容に対する逸脱はありません。

また 関係機関からの指摘、利害関係者からのクレーム等も、過去 3年間ありません。

- 1 鉄スクラップ、鉄くずは有価物扱いですが、2007～2009年実績及び3ヶ月の取組では廃棄物として集計しました。  
木くず、木パレットについては運搬、引取り業者と委託契約を交わします。

## . 代表者による全体の評価及び見直し

承認	作成
伊藤	勝亦

作成 2011年 5月 25日

1・見直し関連情報	項目		確認	(必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	レ	2011年5月25日現在改定はありません	
	2	環境目標及び目標達成状況	レ	環境目標未達成の項目について見直します。	
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	レ	各推進リーダー筆頭に活動出来ました。更なる積極的行動、活動成果を期待します。	
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	レ	木くず、プラスチックに関する運搬処分委託契約を取り交わします。騒音、振動規制法の届出を見直しました。	
	5	外部コミュニケーション・対応記録	レ	ありませんでした。	
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	レ	水使用量削減、客先不良件数の削減未達成に対する問題点の是正措置を講じました。	
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	レ	取引先からのREACH規制調査を回答しました。	
	8	その他(	レ	ありません。	

		全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等)	エコアクションにおけるP D C Aを社内にて定着させる活動が更に必要となり、現場に改善力と関心が高まる活動にし、環境方針をしっかりと環境システムの中で定着及び、持続させていきます。	
2・代表者による全体評価・見直し指示	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	変更はありません。全従業員に周知徹底します。
	2	環境目標・計画	<input checked="" type="radio"/> 有・無	有価物と産業廃棄物に分別し法に従った処理を行ないます。
	3	環境活動計画・取組項目	<input checked="" type="radio"/> 有・無	無理のない活動計画、取組項目に見直します。
	4	環境に関する組織	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	変更はありません。
	5	その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	変更はありません。
	6	その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	変更はありません。